

書 燈



(新西図書館外観)

(2階内装 (写真提供:株式会社久米設計))



新しい西図書館の開館に寄せて

加藤 久雄

令和4年10月1日に新しい西図書館がオープンした。今までの図書館とは違い、「なでしこ芸術文化センター」内に、ホールとの合築という形でオープンすることとなった。

旧西図書館は、西区文化センター内に平成元年4月に設置されたが、利用者数に比して狭く、座席数も少なかったことから、各方面から「拡充してほしい」との要望をいただいていたと聞いている。

また、音楽や芸能を楽しめる新たなホールへの要望も高かったことから、500席を有する「西神中央ホール」を整備することとなり、文化と芸術の神戸市西地区の拠点として、図書館とホールが一つとなった建物の建設計画がスタートした。

新しい西図書館については、平成30年7月から9月にかけて「(仮称)新西図書館整備検討会」を開催し、学識経験者や西図書館でボランティア活動をされている方など6名の方々に委員を務めていただき、様々なご意見をいただいたとのことである。この場を借りて委員の皆様へ感謝を申し上げたい。

この検討会を経て「(仮称)新西図書館基本方針」をまとめた。その核となるコンセプトは「新しい出会い、新しい発見がある、本の「広場」とし、必要とされる機能についても細かく決定した。

中でも計画当初から整備の目標とされた、面積約3,000㎡、蔵書数約30万冊(開館時約20万冊)は神戸

市内の地域図書館としては最大の規模となり、フロアも3フロアに分かれている。

資料だけでなく、様々な席種、部屋を設け、学生だけでなく成人の方々にも、ご自身の勉強や学びなおしに広くご利用いただいている。また神戸市立図書館としては初めて「ボランティア控室」も用意し、図書館の活動にご参加いただいているボランティアの方々が利用していただける部屋も用意した。

令和4年11月の図書館の利用統計を見ると、入館者数は前年比2倍以上、新規登録者数については前年比5倍以上となっており、今まで図書館に来られなかった方々にも数多くご利用いただいているようである。

図書館に来館された方がホールでの催しに興味を持っていたり、またはご自身の発表や練習の場としてホールの存在を認識していただけることも考えられるし、逆にホールの催しを見に(聴きに)来られた方が図書館に立ち寄られ、新たな本との出会いを経験することも考えられる。

このように、図書館とホールが一つ屋根の下にあることのメリットを活かして、末永く、知と芸術の交流拠点として市民の皆様へ活用していただきたい。

神戸市立図書館としては今後、令和6年度末に垂水図書館、令和7年度中に北図書館、令和9年度頃に三宮図書館の移転開館を予定している。利用者にご喜んでもいただける図書館づくりを今後も目指してまいります。

(文化スポーツ局長)

西図書館のなでしこ芸術文化センターへの移転について

総務課担当課長 村井 博之
総務課担当係長 福永 直子

1. 西図書館のあゆみ

西図書館のもととなる西神分室は、昭和 45 年 10 月、伊川谷町（当時垂水区）に建設された西神文化センターの4階の1角に開設された。専有面積は125㎡、閲覧机4台（定員16名）、図書約4千冊でスタートした。

西神地域の開発計画が進むなか、平成元年4月、西神ニュータウン内に西区文化センター（西区糞台）が設置されるのに合わせて、図書館も1階フロアに移転開館した。専有面積は703㎡、旧館からの移行図書約8千冊を含めて3万1千冊でスタートした。

駅前の商業施設に近い立地条件の良さや地域住民の読書需要の高さから利用は伸び、一時期は中央図書館を含めた全館で最も貸出の多い図書館となった。

（表1）西図書館年表

年月日	
昭和45年10月	西神分室（西神文化センター4階）開設
昭和47年4月	西神図書館と名称変更
昭和57年8月	西図書館と名称変更
平成元年4月	西区民センター1階に移転開館
平成7年1月17日～4月27日	阪神・淡路大震災による休館
平成20年4月	指定管理者による管理開始
令和4年10月	なでしこ芸術文化センターに移転開館

2. （仮称）新西図書館整備検討会の設置

利用の多さと比較して、館内の狭さや蔵書数の少なさが課題となるなか、西区庁舎の整備にあわせた西神中央のリニューアルの検討が始まり、西区美賀多台にホールとともに整備されることとなった。

そこで、平成30年6月から7月にかけて、西図書館来館者や、連合自治会婦人会、子ども会、西神工業会などの地域の方々にアンケート調査を行った。

来館者の回答では、閲覧席や蔵書の充実が多く望まれ、地域の方々からは、地元に関する資料や大活字本の要望が高いといった結果が出た。

また、新しい西図書館のコンセプト、基本的な方針、求められる機能等について有識者等から幅広くご意見をいただくことを目的に「（仮称）新西図書館整備検討会」を設置、平成30年7月19日、8月23日、9月11日の3回検討会を開催した。

（表2）（仮称）新西図書館整備検討会委員

（順不同）

内藤 一恵	神戸常盤大学研究員
芝 和子	NPO ユースプラザ西 2009 理事長
則長 訓江	西図書館ボランティア
畑 友洋	神戸芸術工科大学准教授
廣岡 徹	兵庫教育大学教職大学院講師
村岡 正和	株式会社神戸デジタル・ラボ取締役

（仮称）新西図書館整備検討会では、機能と利用者層について「間口を広く、行きやすい場所」「ホールとの一体化」、求められるものとして「青少年や子育て世代の使いやすさ」等といった意見があがった。

アンケート調査や検討会での意見を踏まえ、新西図書館のコンセプトや整備の基本方針を示す「（仮称）新西図書館基本計画（案）」を中央図書館で作成。平成30年9月20日～10月19日の期間、意見募集を実施し、12月に基本計画を策定、基本コンセプトは「新しい出会い・発見がある本の広場」となった。

3. 西神中央文化・芸術ホール等整備事業の経緯

平成31年4月より、文化・芸術ホールの整備及び管理・運営、新西図書館の整備、高質な中高層共同住宅の供給といった西神中央文化・芸術ホール等整備事業を担う事業者の公募を都市局が実施。5つのグループより応募申込書の提出があり、外部有識者等で構成する選考委員会において、事業計画など提案内容について審査し、審査通過者の中高層共同住宅用地の土地購入申出価格調書を開封、最も高い価格を提案した事業者を令和元年9月に優先交渉権者と決定した。

優先交渉権者

・代表企業 鹿島リース株式会社

構成企業

- ・株式会社シアターワークショップ
- ・伊藤忠都市開発株式会社
- ・旭化成不動産レジデンス株式会社
- ・山陽電気鉄道株式会社
- ・和田興産株式会社

協力企業

- ・鹿島建設株式会社
- ・株式会社久米設計
- ・株式会社都市建

優先交渉権者の事業提案について、顕著に評価すべき点として、「知と芸術が融合し、新たな出会いと高揚感を誘発する仕掛け（アートウォール）のある交流モールの提案があり、ホールと図書館が一体となって賑わいを作り出す仕組みづくりが期待できる」ことや、「図書館は、音を基準にしたゾーニングがされており、様々な世代が共に集い、本とふれあえる場となっている点」、「利用者動線と作業動線を明確に分離し、安全と効率的な運営に配慮された計画等」が評価された。

（表3）西神中央文化・芸術ホール等整備事業優先交渉権者選考委員会委員（五十音順）

委員長	三輪 康一	神戸大学名誉教授
委員	大内麻水美	神戸居留地法律事務所 弁護士
委員	辰巳八栄子	稲清税理士法人 公認会 計士・税理士
委員	徳永高志	NPO 法人クオリティ・アンド・ コミュニケーション・ オブ・アーツ理事長
委員	廣岡徹	兵庫教育大学教職大学元 教授、兵庫県生きがい創 造協会理事
委員	三上晴久	神戸芸術工科大学芸術工 学部環境デザイン学科教 授
委員	衣川彰	神戸市西区長

（表4）外部委員

ホール専門	草加叔也	有限会社空間創造研 究所代表取締役
図書館専門	中井孝幸	愛知工業大学工学部 建築学科教授、日本図 書館協会図書施設委 員

令和2年2月に西神中央文化・芸術ホール等整備事業文化施設（ホール、図書館）に関する住民説明会1回目を開催。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、一時延期後、改めて7月に6回開催し

た。合計7回の参加者数は654名。市と事業者より事業概要・事業計画案の説明を行った。

説明会の後、いただいた意見を踏まえて、階段のバリアフリー対応や駐輪場の配置、歩行者空間の確保等施設計画を一部変更した。

令和3年2月建築工事に着手、令和4年7月に竣工した。

整備の実施体制

- ・代表企業 鹿島リース株式会社
- ・施工 鹿島建設株式会社
- ・設計・監理 株式会社久米設計

令和3年5月～6月には、ホールと図書館を含む文化施設全体の愛称を募集し、選定委員会による選定及び一般投票を経て「なでしこ芸術文化センター」と決定した。

4. 書架工事及び開館準備

令和4年7月施設全体の竣工後、図書館発注による書架やカウンター等家具設置の書架工事を行った。

- ・設計 株式会社久米設計
- ・施工 鹿島建設株式会社

椅子や閲覧テーブル、スツール等は、ホールとの複合施設として空間の統一感を形成するために、ホールエリアで設置するものと同じ銘柄を指定し調達した。

移転に備えて、西区文化センターでの開館は令和4年8月31日までとし、9月の1か月間は移転準備のため休館とした。そのため、西図書館での貸出のみ8月18日から貸出期間を約40日間に延長した。また、9月1日から8日までは臨時窓口を設け、予約図書の受取と返却を行った。

新西図書館3階に設けられた公開書庫には、当初は中央図書館からの移管本を置くことになった。また、同3階の閉架書庫は、中央図書館書庫資料の一部を移管するため、公開書庫の図書とあわせて利用サービス課により移管作業が行われた。

図書や備品等の搬入にあたって、ホールでも開館に向けて舞台装置やフルコンサートピアノ等の搬入があり、ホールの準備を担当している都市局と綿密な連絡を取り調整しながら行った。

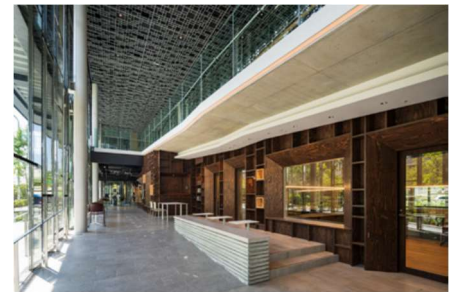
1階



①親子読書コーナー



②おはなしの部屋1・2



③アートウォール

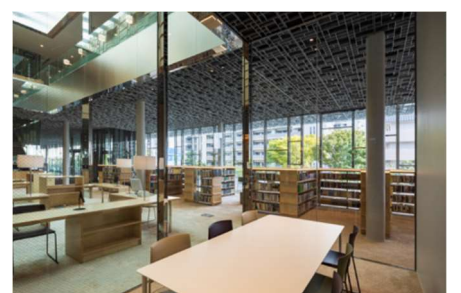
2階



④予約図書セルフ受取棚

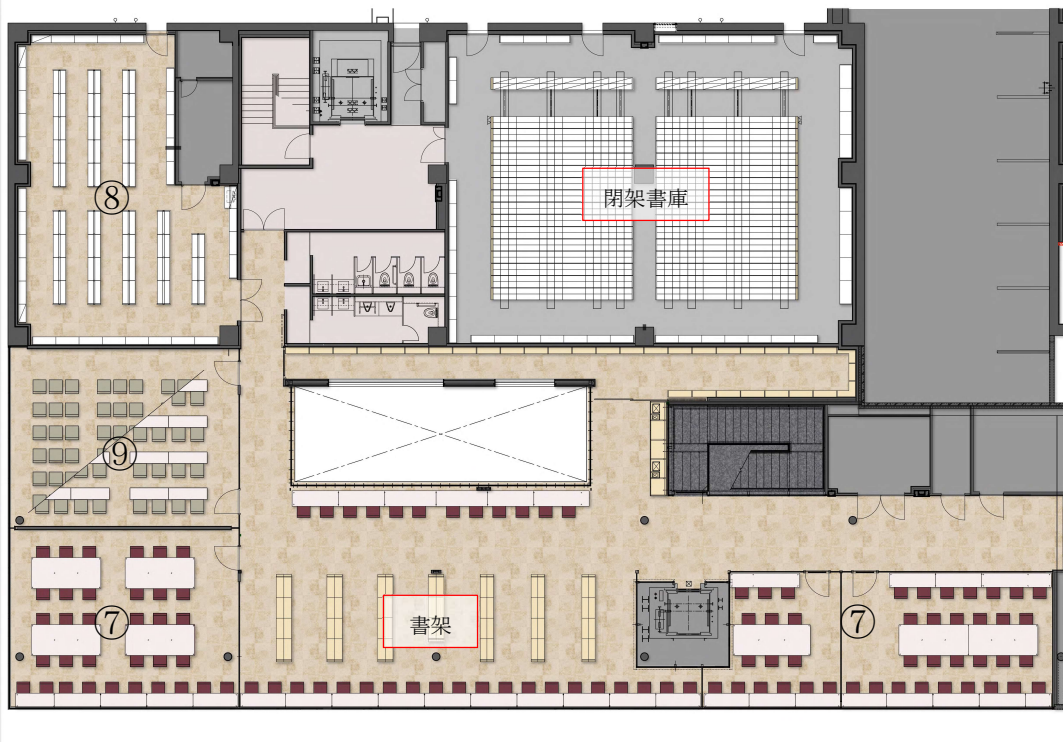


⑤個人ブース



⑥グループ学習室

3階



⑦学習室



⑧公開書庫



⑨セミナー室



3階内観



外観 (夜)

(図面・写真提供：株式会社久米設計)

開館おめでとうございます。

久米設計 堀川知行

コンペ当選から3年間、多い時は毎週東京から神戸に通い丹精込めてデザインした建築が市民の皆様にご利用いただける日を迎えたこと、非常に感慨深いです。

なでしこ芸術文化センターは「西神中央ホール」と「神戸市立西図書館」の単なる複合施設ではなく、有機的に繋がる融合施設を目指し、ホールと図書館の枠を越えた、全館自由に本が読める新しいタイプの公共施設として提案しました。

2つの施設をつなぐ「交流モール」には知と芸術が融合した「アートウォール」と名付けた棚を設置し、図書館、ホール双方の展示により新たな

創造のきっかけと出会いを生み出します。図書館は、「新しい出会い・発見のある本の広場」をコンセプトとし、多世代の利用者が快適に過ごせる音環境や、散策しながら本と出会える書架デザイン、ニーズに合わせた個性ある座席を多く配した「滞在型図書館」として設計しました。

新しい取り組みを実現するため、管理運営面でも課題を調整して頂いた岡田館長以下中央図書館様、高品質な施工をして頂いた鹿島建設様等、全ての関係者様に感謝を申し上げます。神戸市民に愛される図書館になることを願っております。

5. 図書館部分の施設概要

専有面積 2,275 m²(共用部を含めると2,861 m²)
蔵書数 開館時約 20 万冊 (最終約 30 万冊)
座席数 約 300 席

[諸室]

- ・おはなしの部屋
読み聞かせができるスペース
- ・親子読書コーナー
靴を脱ぎ、くつろいで読書ができるスペース
- ・ボランティア控室
おはなし会や本の修理等の図書館ボランティア登録者が活動の準備等に利用できるスペース
(事前申込必要)
- ・対面朗読室 (事前申込必要)
- ・個人ブース
- ・グループ学習室
- ・学習室 1, 2, 3

[新しい機能]

・座席管理システム
前年度に名谷図書館に導入した座席管理システムを西図書館でも導入した。当初は、開館から約2週間後にサービス開始予定だったが、予約時に必要な図書館カードを作成していない新規の利用者が多いことから、予約システム開始を10月27日からとした。結果的に広報期間を長く取れたことで、初日から混乱もなくスムーズにスタートした。

予約システム対象の座席は、2階の個人ブース、グループ学習室、3階の学習室、セミナー室。館内の座席のうち約3割弱が対象となる。

令和4年12月までは、館内の専用端末から当日の予約のみ、令和5年1月の図書館システム更新後から、インターネットからの予約もできるようになった。

・予約図書セルフ受取棚

利用者自身が予約図書を指定されたセルフ受取棚から取り出し、自動貸出機で貸出手続きを行う「セルフ受取棚コーナー」を2階に設置。

実際の稼働は、令和5年1月図書館システム更新後。

[学び直しコーナー]

3階に設置した学び直しコーナーには、余暇の教養だけでなく、就業中の社会人向けのキャリアアップ、スキルアップ等を目指した図書を集めた。

[アートウォール]

アートウォールは、ホールと図書館をつなぐ部分に設置され「知と芸術をつなぐ」というコンセプト

を掲げている。区画ごとに芸術作品等を展示可能な棚となっており、開館当初の1か月間は「知る、見る、表現する」という特別展示が行われた。共用スペースとして、図書館も展示を行っていく。



(1階内装 (写真提供: 株式会社久米設計))

夢の図書館、今、ここに！

兵庫教育大学大学院 元教授 廣岡 徹

本が好きで図書館が好きな人が考えることの行き着く先は「自分の理想とする図書館を作ってみよう」という願いであるのかもしれない。

平成30年に「(仮称)新西図書館整備検討会」の発足に際し、6名の委員がそれぞれの立場から図書館への思いを語り合った。また、文化ホール併設であったことから、さらに夢が広がった。

新たな図書館のコンセプトとして、市民の「知る・遊ぶ・感じる」かつ「暮らしを支える」空間であり、そこには「新しい出会い、新しい発見」があること、本が好きかどうかは別にして「基本的な居心地のよさ」があること、さらには市民が「シビックプライド(地域への愛着と誇り)」を感じることでできる施設であること、とまとめられた。次いで、多くの具体的な提案がなされた。

委員長として意見の整理を行いながら、これらのすべてを満たす施設の実現は、設計上等の制約もあるだろうから、難しいようにも思われたが、とにかく全員の思いをまとめさせていただいた。

そして、ついに開館。図書館としての機能はもちろん、外観から各階の棲み分け、多様な空間のレイアウト、調度の色調や配置、文化ホールとの一体化した接続など、まさに夢は実現していた。

とはいえ、市民や職員が馴染んでいくとともに夢に隠れていた課題が見えてくるに違いない。それらの対応も含めて「夢の図書館」であり続けることを願っている。

6. 開館式典及び開館の様子

10月1日(土)、なでしこ芸術文化センターの開館記念式典が西神中央ホールで10時から行われた。式典では、来賓挨拶、テープカットセレモニーの後、神戸野田高等学校ダンス部による演舞が披露された。その際、ホールの特徴である舞台背面のスライディングウォールが開かれ、建物の外の交流広場が見える状態になり、交流広場で図書館入館整理券に並んでいる人々からも舞台が見えることとなった。

式典の第2部では、図書館など施設内の内覧会の時間が約30分間設けられ、式典参加者が自由に館内を見学した。第3部では、スライディングウォールを閉め本格的な音楽が体感できる状態に転換したホールにて、崎谷明弘氏によるピアノ演奏会が行われ12時に式典が終了した。



(テープカット: 左から愛称製作者西内様、井上西区連合婦人会長、安井神戸市会議長、久元神戸市長、坂口西区自治協議会長、宮本神戸芸術文化会議副議長、鹿島リース株式会社社長稲葉様)

図書館は13時から開館した。10月1日と2日は、混雑緩和のため入場整理券を配布し、入館者数の制限を行った。13時開館の1日は10時30分から、9時開館の2日は8時45分からの配布開始予定としていたが、それ以前に配布待ちの行列ができる状態となった。入場整理券の配布は、西図書館の指定管理者である株式会社図書館流通センターが担当した。

初日の1日は土曜日ということもあり、閉館の20時まで館内は、新しくなった図書館を見にきた人々で賑わっていた。

1階と2階にカウンターを設置しているが、開館当初は図書館カードを作成する人が多いことを想定して、1階カウンターの混雑を解消するため、臨時の登録窓口を3階のセミナー室に設けた。

また、休館中も受取館を西図書館に指定した予約を可能としていたため、約1万冊の予約図書が館内に滞留する状態となった。そのため、貸出を円滑に進めるために、3階に予約図書受取窓口を設置する等の対応をとることになった。

7. 利用状況

10月1日開館初日、入館者数は4,977人。2日は4,897人、4日は5,614人と連日多くの入館者があり、10月の一日平均は3,966人と前年の3倍強となった。

また新しい施設になったことで、これまで図書館を利用していなかった人たちの関心が高まったと思われる、新規に図書館カードを作成する人が多く、10月の新規登録者数は3,117人、前年比で12倍と非常に増えた。

(表5) 西図書館利用統計 10月

	10月	一日平均	前年比
入館者数	103,119人	3,966人	330%
貸出冊数	88,093冊	3,388冊	143%
新規登録者	3,117人	120人	1254%

11月

	11月	一日平均	前年比
入館者数	68,552人	2,636人	221%
貸出冊数	76,729冊	2,951冊	128%
新規登録者	1,522人	58人	536%

西図書館が新しくなりました

西図書館長 石川絵理

一か月の休館を経て、令和4年10月1日、西神中央ホールとの複合施設「なでしこ芸術文化センター」に移転開館しました。小さいながらも多くの利用があり、土日になると座席は満席、カウンターには予約本を受け取るための行列が珍しくなかった旧館から、面積約3倍、蔵書数2倍という地域館では最大規模の新館となりました。「広くて綺麗な図書館が出来てうれしい」「本がたくさんありすぎて、次に何を読もうかわくわくする」といったお声をいただいています。新しい図書館はゾーニングがしっかりとされており、小さなお子さん連れの利用も気兼ねなく利用できると好評です。ベビーカーをよく目にするようにもなりました。個人ブースや学習室は中高生だけでなく様々な世代の方に利用いただいています。Wi-Fiルーム、サイレントエリアなど目的に応じて座席の種類が選択でき、座席管理システムの導入により混雑のストレスもありません。様々な目的で来館した利用者が、ゆったりと快適に過ごすことのできる滞在型図書館となりました。今後は新設された「学びなおしコーナー」の充実、「ボランティア控室」、「対面朗読室」、「セミナー室」の活用、また共有部の壁面書架「アートウォール」をはじめとするホールとの連携など、芸術文化センターならではの取り組みにもチャレンジしたいと考えています。

ーおはなし会ボランティアグループ募集 (3 館) ー

令和 4 年 11 月 8 日～12 月 16 日まで、中央・三宮・名谷図書館の 3 館において、中央 1 グループ、三宮・名谷は各 3 グループ、計 7 グループのおはなし会のボランティアグループを公募した。応募グループに対し各館で面談と実演による選考を行い、決定したグループは、令和 5 年度のおはなし会より活動を開始する予定である。(利用サービス課・布川)

ー小磯記念美術館との連携展示ー

小磯記念美術館・特別展「竹中郁と小磯良平-詩人と画家の回想録-」との連携により、中央図書館 2 階で令和 4 年 11 月 1 日～12 月 28 日まで「竹中郁とその交友」と題し関連図書を展示した。また、ポスター掲示、チラシ配布、Twitter 発信など広報協力を行った。美術館から小磯画《彼の休息》ほか、画像の提供を受け、華やかな展示となった。美術館制作の漫画『竹中くんと小磯くん』も人気で 160 部を配布した。学芸員と情報交換ができ貴重な機会ともなった。

(利用サービス課・宮本)

ー宝塚市立図書館の貸出利用が可能にー

令和 4 年 12 月より、すべての神戸市民による宝塚市立図書館の貸出利用が可能となった。これは平成 3 年 8 月開催の「神戸隣接市・町長懇話会」にて行われた各市町の公立図書館の相互利用についての合意に基づくものである。本市は同年に隣接市の住民の利用を受け入れ、一方で未実施の隣接市に対し長年働きかけを続けてきた。今回の宝塚市での実施により、本市市民の利便性がさらに向上することとなる。

(総務課担当係長・西山)

ー地域館トピックスー

【三宮図書館移転開館イベント】

令和 7 月 26 日にデザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 2 階に移転開館した三宮図書館では、KIITO との共催記念行事として「ナゾトキウォークラリー～図書館と KIITO に潜む謎を解き明かせ！～」(8 月 2 日～10 月 30 日) を開催した。ナゾトキの設問については、ウォークラリーに先駆けて開催したワークショップ (全 3 回: 5 月 14 日・28 日、6 月 25 日) において、講師にお招きした多くのゲーム制作を手掛けている櫻井知得氏とワークショップ参加者が協力して作成した。一般向けは 1,910 枚、子供向けは 2,406 枚のナゾトキ用紙を配布す



ることができ、ウォーターフロントへの誘いと KIITO と移転した三宮図書館を知ってもらうことを目的とするイベントとしては大成功であった。

【森林植物園で本と植物のフェスタ】

神戸市立森林植物園において、10 月 10 日に「森林植物園で本と植物のフェスタ」が開催された。

”森林植物園で絵の本ひろば実行会”主催によるもので、兵庫・北・北神・名谷図書館は共催として、淡河バンブープロジェクト、KOBE Rail & Trail、食べるをつくる実行委員会、BL 出版株式会社と協力して企画段階から携わり、当日は段ボール面展示台を利用した約 500 冊の絵本等の展示を行う「絵の本ひろば」や、秋の森をイメージした工作会、読み聞かせブース等を担当した。約 100 名の参加者が秋空の下で本との出会いを楽しんだ。



(総務課・谷岡)

ー図書館への児童書寄贈についてー

一般財団法人みなど銀行文化振興財団から、中央図書館へ 100 冊、東灘図書館へ 46 冊 (各 10 万円相当) 計 146 冊の児童書をご寄贈いただいた。平成 28 年度より毎年 2 館ずつ、昨年までで市立図書館 12 館全館へのご寄贈があり、7 年目となる今年度は、中央図書館と東灘図書館に 2 度目のご寄贈となった。

(利用サービス課・高木)

ー手帳ー

- | | | |
|-----|--------------------|---|
| 会議 | 8.5 | 近畿公共図書館協議会第 1 回理事会
(7/21 中止のためオンライン会議開催) |
| | 8.23 | 第 7 期第 4 回神戸市立図書館協議会 |
| | 9.15, 10.19, 11.30 | 経済港湾委員会 |
| | 9.27 | 決算特別委員会 (局別審査) |
| | 10.4 | 第 1 回兵庫県立図書館協議会 |
| | 10.25, 11.9, 12.22 | 中央図書館職員安全衛生委員会 |
| 研修 | 12.15 | 館内研修 (コンプライアンス) |
| その他 | 10.1 | 新西図書館開館 |
| | 11.2 | 兵庫県津波一斉避難訓練 |
| | 12.2 | 市民満足度調査 |
| | 12.20 | 神戸子ども文庫連絡会・
図書館ネットワークとの交流会 |